

平成21年度事業報告

株式会社エフエム新津の平成2年4月1日～平成22年3月31日迄の事業報告を下記の通り報告する。
概 要

日銀の企業短期経済観測調査によると、通常、景気の回復期には経常利益に若干遅れて売上高が回復に向かう。しかし最近の企業業績をみるとリストラにより経常利益が改善に向かう中、売上高は依然として減少しており、景気回復期にもかかわらず減収増益傾向が続いている。日銀短観で企業の業績見通しをみても売上高の見通しが下方修正される中、リストラ効果によって経常利益の減少がカバーされている傾向が顕著である。しかし、これ以上のリストラでも売上高の下方修正分をカバーしきれないと見込んでいる企業が多い事が伺える。としてあります。

広告収入を生業とする弊社にはまだまだ厳寒の感が否めない経済情勢です。こうした厳しい状況の中で推移した21年度。必死の経費削減に努めましたが、ご多分に漏れず収入の減少に追いつかない状況であります。

平成19年度から3年間、秋葉区の取組の一環である「コミュニティ放送を活用した地域防災体制の充実を図る」目的で設置された「緊急告知ラジオ設置事業」も順調に整備され、毎月定期的に試験放送を実施し、有事の際に活用出来るよう準備しております。この功績が認められ、南区からも導入のお声がけを頂き、次年度構築へ向けて準備をしている所であります。

市町村合併が実施されても、法令により放送エリアの拡大は認められないコミュニティ放送局だからこそ出来る情報伝達・きめ細かな情報の提供は可能です。

今後は、近隣町村にも、導入を進めていく予定であります。

昨年は「トキめき新潟国体」氷と土の芸術祭 等々、新潟県・新潟市がクローズアップされ、全国から注目を集めた年でした。

秋葉区でも「にいつ食の陣」「新津あおぞら市場」「にいつハロウィン仮装まつり」など独自イベントが目白押しで、弊社も積極的に参加させて頂きました。

秋葉区住民と共に、元気な街作りに寄与して参ります。

今後の見通しにつきましては、まだまだ厳しい経済環境ではありますがコミュニティ放送局としての販路を開拓し、イベントチャンスを見逃さず、基本理念である地域密着・住民参加・放送文化の向上に向けて、更なる活動を続け、累損の早期解消に鋭意努力する所存であります。

平成21年度 収支決算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日 消費税込み表示

単位 :円

科 目	H21年決算額
事業収入	52,775,905
事業支出	51,869,543
営業費用	54,869,543
番組費	7,068,251
技術費	4,720,166
販売費	6,294,648
人件費	25,856,926
管理費	7,929,552
営業外費用	0
法人税	189,212
当期損益	717,150
累計損益	22,235,008